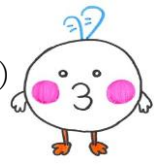




羽鳥中 学校だより

～夢・感動・感謝・誇り～（学校経営スローガン）



Vol.4

2026年7月16日発行 文責 校長 深津 礼子

学校教育目標

1. 開かれた学校教育を推進する
2. 人間尊重の心を育てる
3. 自ら学び、考え表現する力を育てる

夏休みに入ります。4月からここのまで、みなさんにとってどんな3ヶ月半だったのでしょうか。学校行事、学年での取り組み、委員会活動や部活動、それぞれの活動を通して、多くのことを学び、感じ、考え、みなさんは成長

してきました。「こうなりたい」「こうしたい」という自分が目指す姿に向かって努力してきたことと思います。

ここで一度、始業式で私がみなさんに話した大切な「A B C D」を振り返ってみてください。（1年生は今回が初めてですね。）

「【A】当たり前前のを、【B】ばかにしないで、【C】ちゃんと、【D】できる」

どうでしょう。意識して過ごすことができたでしょうか。日々の挨拶、時間を守ること、身の回りの整理整頓。どれも小さなことに思えるかもしれませんが、しかし、この「**当たり前前**」の**積み重ね**こそが、みなさんの**大きな成長の土台**となり、確かな自信へとつながっていきます。

明日からの夏休み中も、そして夏休み後も、この「A B C D」をぜひ心に留め置き、実践し続けてほしいと思います。日々の当たり前前の質を自ら高め、さらに一回り大きく成長したみなさんと、9月1日に元気に再会できることを楽しみにしています。

< 修学旅行 3年 >

6月20日～22日に京都・奈良へ行ってきました。1日目は法隆寺見学、奈良公園散策。2日目は京都班別行動。3日目はクラス別行動で、友禅染・和菓子作り・座禅を体験し、嵐山散策をするといった行程でした。

「全力で楽しむシカない」というスローガン通り、3日間を通していろんな場面で3年生の楽しんでいる姿が印象的でした。ただ自分たちが楽しむだけでなく、ルールやマナーを守り、周囲に目を向け行動することもできていたと思います。失敗しても、次からは気を付けて、目的の1つである、「協力することや責任、自主的に行動することを学ぶ」ことができました。

この3日間で多くの学びを得た人がたくさんいたと思います。これからの学校生活にぜひ活かしていったほしいと思います。





< 情報モラル教室 全学年 >

ネット依存やネットいじめ、なりすまし、詐欺、闇バイトなどについて話がありました。自分は大丈夫だと思っていたけれど、これからは使い方に気を付けたいといった感想や、使い方によって自分が加害者にも被害者にもなり得ることに気づき、ネットでもリアルでも他人の心をえぐるようなことは言わない、と決意した生徒もいました。

< 福祉体験学習 2年 >

事前講話と、1日かけて「車椅子介助体験」「高齢者疑似体験」「認知症サポーター養成講座」「誘導講習」を体験しました。

福祉が大切にしているのは、**みんなが主人公で「助け上手、助けられ上手」**になり、毎日の生活の中で、支え合って幸せを感じるのだというお話がありました。体験を通して、ただ「かわいそう」と思うのではなく、自分は何ができるのかを考えてもらいたいというお話もありました。

4つの体験から、今まで気づかなかったバリアフリーの存在に気づいた、家族の大変さが理解できた、障がいのある方の気持ちを知ったなど、多くの生徒が新しい気づきを得ることができました。

「困っている人がいたら手を差し伸べ、自分が困ったときには助けてもらう」という助け合いの本質を、身をもって実感する貴重な機会となりました。



< 職業講話・実演体験 2年 >

タイル、畳、貴金属、内装、大工の5つの職業に携わっている方々からお話しと実演指導を受けました。

どんなことをしているのか、必要な資格、技術や仕事についての思い、やりがいや大変なこと等いろいろなお話を伺うことができました。

実演体験では、初めての作業にとまどいながらも楽しく取り組



み、改めて、プロのすごさを感じたようです。この体験をきっかけに調べてみたいことができ探究心が強まった生徒もいました。



<海の安全教室 1年>

波や風の影響で危険が及ぶこと、離岸流の時は慌てず横にすれるなど、海や川などで気をつけることについて教えていただきました。

自然界において必要とされる知識をしっかり持ち、正しい判断ができるよう心がけ、水辺で安全に楽しく過ごす力を身に付けてほしいと願っています。



<藤沢市総合体育大会>

天気のため、全ての試合を終えることができなかった競技もありましたが、大事なく終わることができました（陸上競技はこれからです）。

どの部の選手も全力でプレーする姿が見られ感動しました。接戦で最後まで気を抜かず、頑張り続けた選手の集中力と気力に感嘆した試合もありました。惜しくも敗れ、引退を迎えた3年生、本当によく頑張りました。

湘南ブロック大会への出場権を獲得したみなさん、おめでとうございます。上位大会に出場するみなさんには、自分たちの力を信じ、強い気持ちを持って、羽鳥中生の誇りを胸に次のステージに臨んでほしいと思います。

また、試合会場に足をお運びいただいた保護者やご家族のみなさま、仲間や後輩の応援に駆けつけた生徒や卒業生のみなさん、熱い声援をありがとうございました。選手を支える大きな力となっていました。

<卓球部>

団体 男子 予選リーグ ●第一中 ●長後中 ○藤嶺藤沢

女子 予選リーグ ●善行中 ●長後中

個人 男子 立松（2年）

ベスト 32 → 湘南

<サッカー部> 1回戦○善行中 2回戦●明治中

<軟式野球部> 1回戦○湘南学園 2回戦●慶応

<男子バレーボール部> 1回戦●藤沢クラブ 順位決定戦●六会中

8位→湘南

<女子バレーボール部> 1回戦○長後中 2回戦○高倉中 3回戦●藤沢 LIGARE

3位決定戦○第一中 3位→湘南

<男子バスケットボール部> 1回戦●湘南学園

<女子バスケットボール部> 2回戦○高浜中 3回戦○鶴沼中

準決勝●湘洋中 3位決定戦○大清水中 3位→湘南

湘南通信陸上<陸上競技部>

男子 1年 1500m 見上（1年）第7位





～教育文化講演会のご案内～



藤沢市教育文化センター 教育文化講演会

探究する心を育てるために

～身近な疑問が出発点に～

なぜ鳥たちは群れをつくるのでしょうか。インコはなぜ、人間の言葉をまねするのでしょうか。私たちが普段、何気なく見ているスズメやツバメやカラスなどの身近な鳥たちも、その生活を深く知れば知るほど、分からないことがいっぱい出てきます。

さて、探究することそのものを楽しむ心は、どのように育んでいけばよいのでしょうか。鳥の研究の第一人者である、日本野鳥の会会長・立教大学名誉教授の上田先生のお話から一緒に考えていきましょう。

〔講師〕 上田 恵介 氏

動物行動学・進化生態学・鳥類学を専門とし、環境問題の研究にも取り組んでいらっしゃる第一人者です。野鳥を知ることを通じて、自然全体を知ることの大切さ、守ることの重要性、そして自然の生態系の仕組みなどを広く伝えています。研究者としての豊富な経験から語られるお話は、やわらかくわかりやすい解説として、「NHKラジオ子ども科学電話相談」や、テレビ番組「ダーウィンが来た」でもおなじみです。

と き 8月19日（水）14:00～16:00

（入場無料 手話通訳有）

ところ 湘南台文化センター 市民シアター

定 員 600人

申込方法 二次元コードもしくは電話

申込み 7月24日（金）～8月5日（水）

申込フォーム（二次元コード）より

電話 Tel (50) 8300

受付 平日 8:30～17:00

